



➤ **知識と臨床を繋ぐ症例検討**

症例検討会③

～症例から明日に繋がるヒントを探す～

- 1. 分析チャートの記入**
 - 2. 問題点の仮説の立て方**
 - 3. 目標設定とは**
 - 4. 評価とアプローチの視点**
-

**講師：脳外臨床研究会
作業療法士 山本秀一郎**



問題点は？



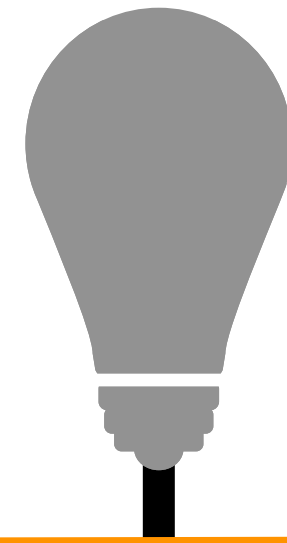
①運動麻痺

②異常筋緊張

③感覚障害

電球がつかない場合のアプローチは？

② 電球



ここでいうアプローチとは何？



③ 導線

① 電池



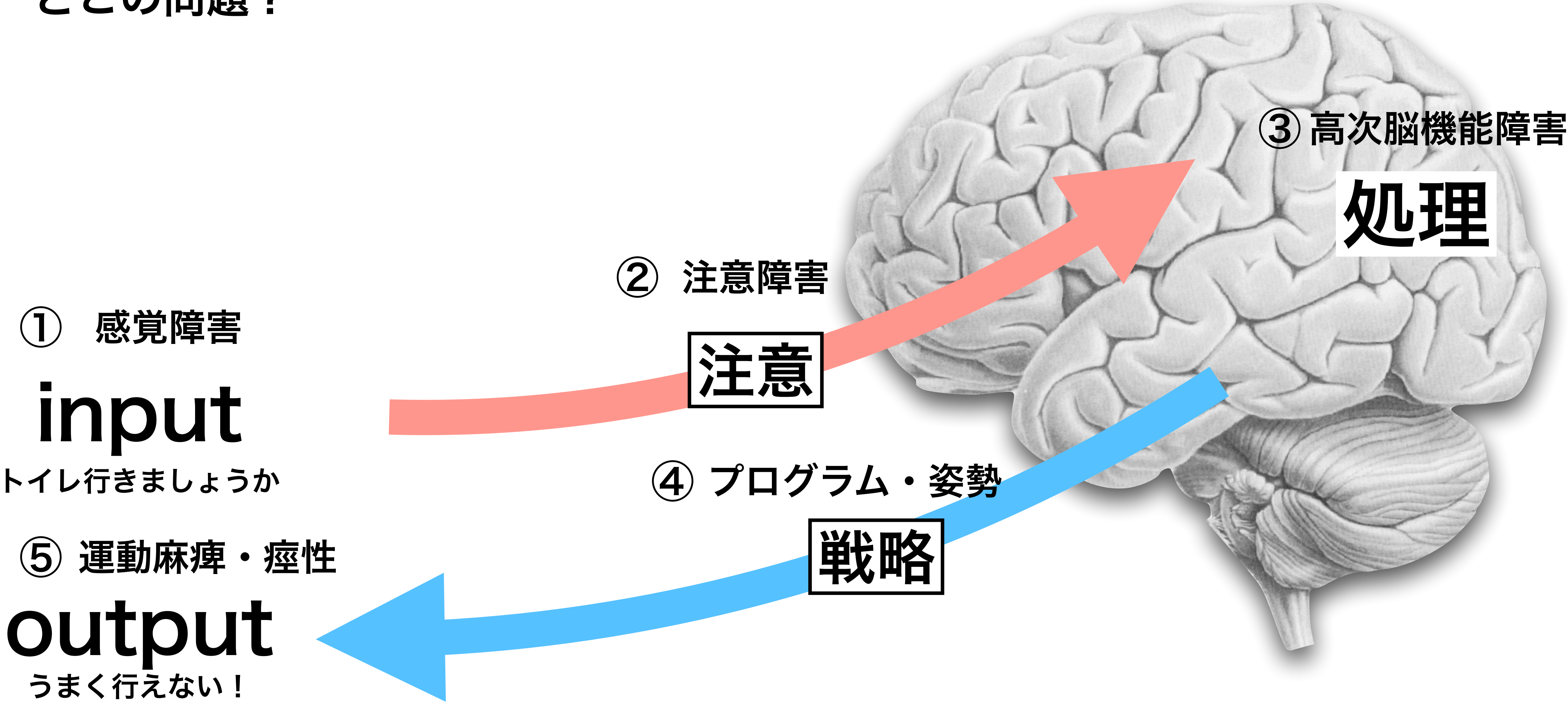
何を評価するのか？

input

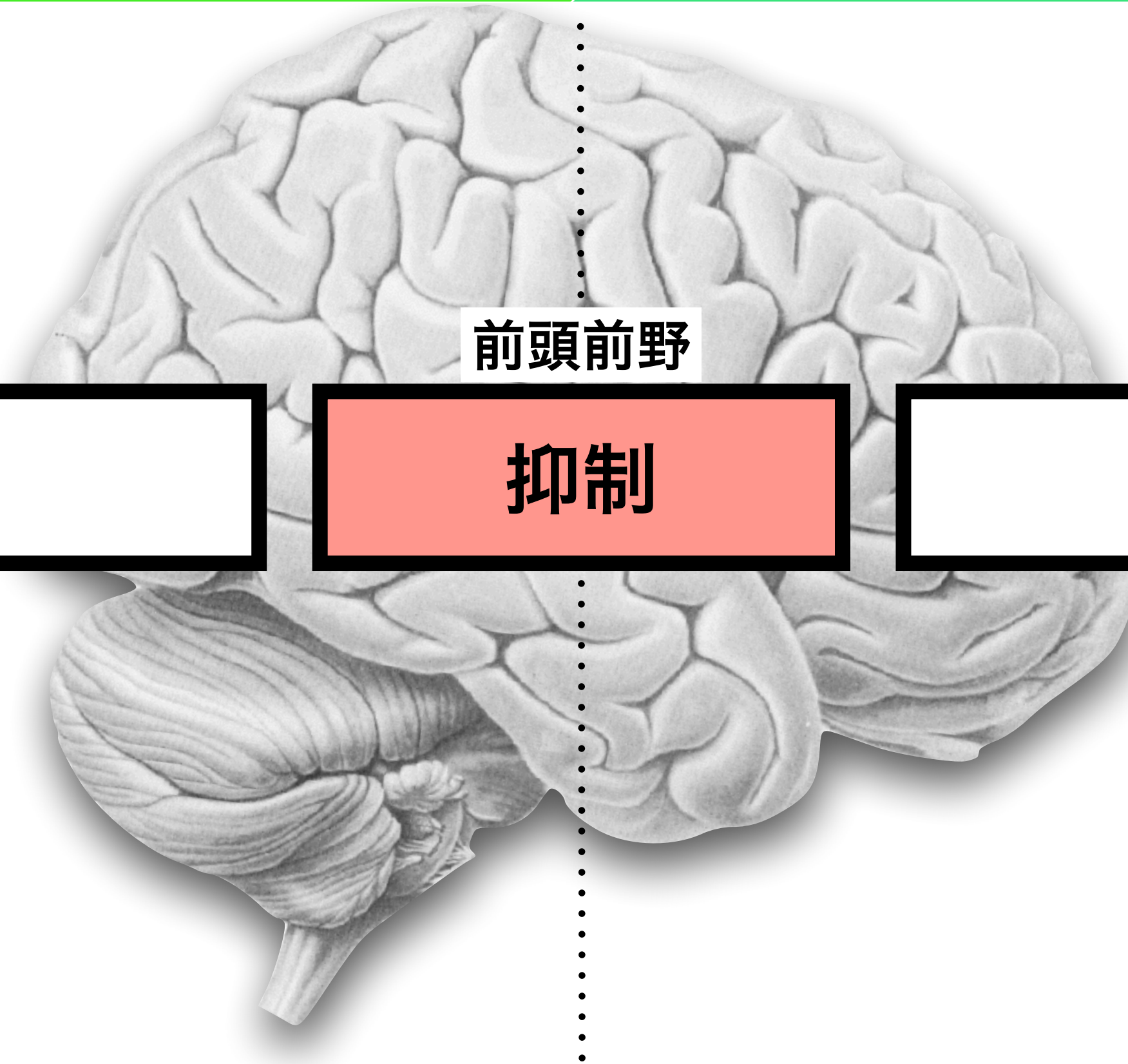
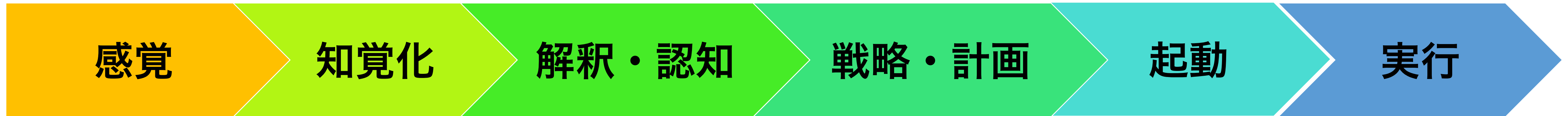


評価チャート

どこの問題？



どう分析するか？



前頭前野

感覚情報を処理

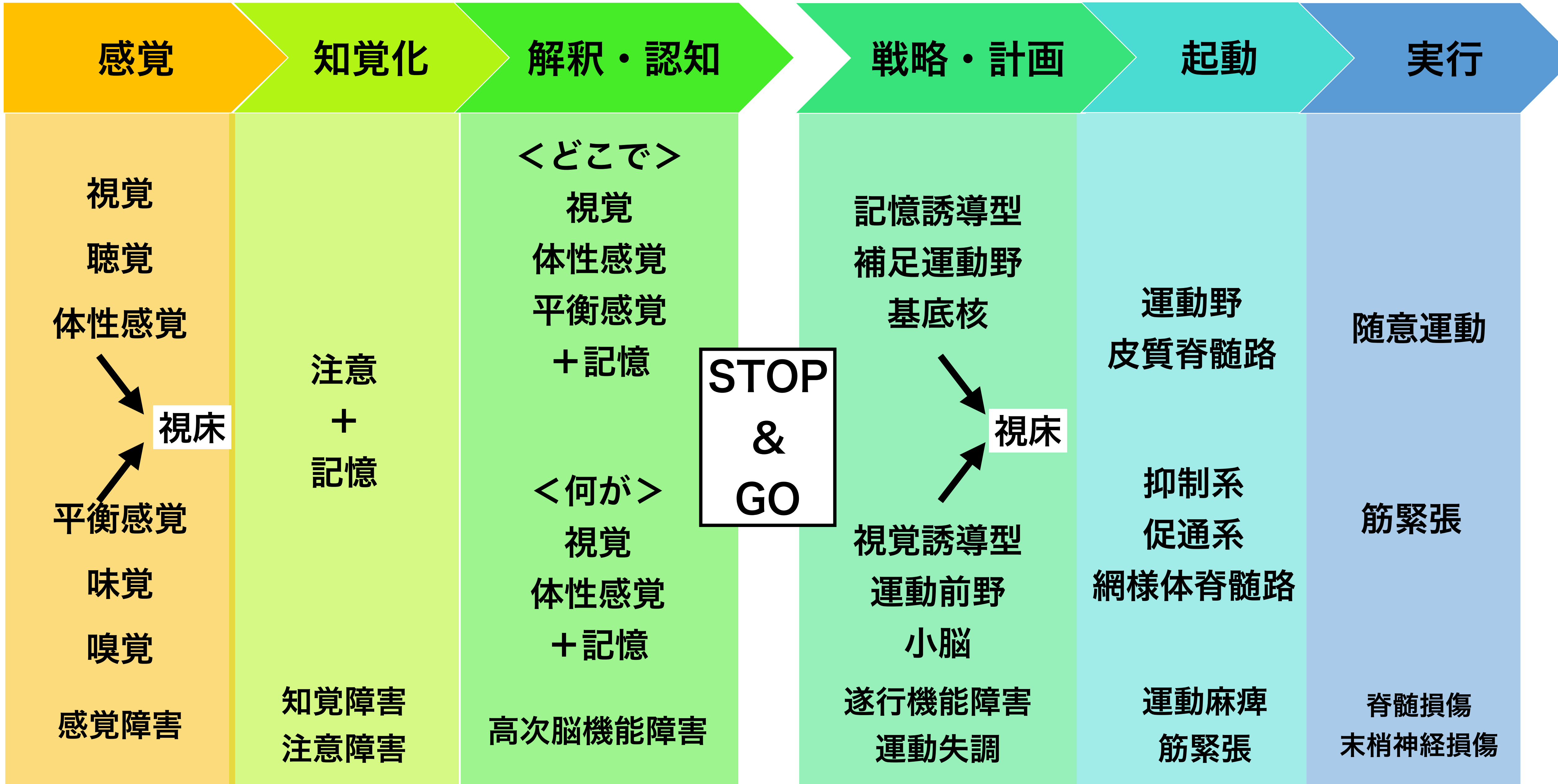
抑制

運動の出現

インプット

どう分析するか？

アウトプット



山本流アプローチ

何をインプット

何感覚？

『肘を曲げてね』

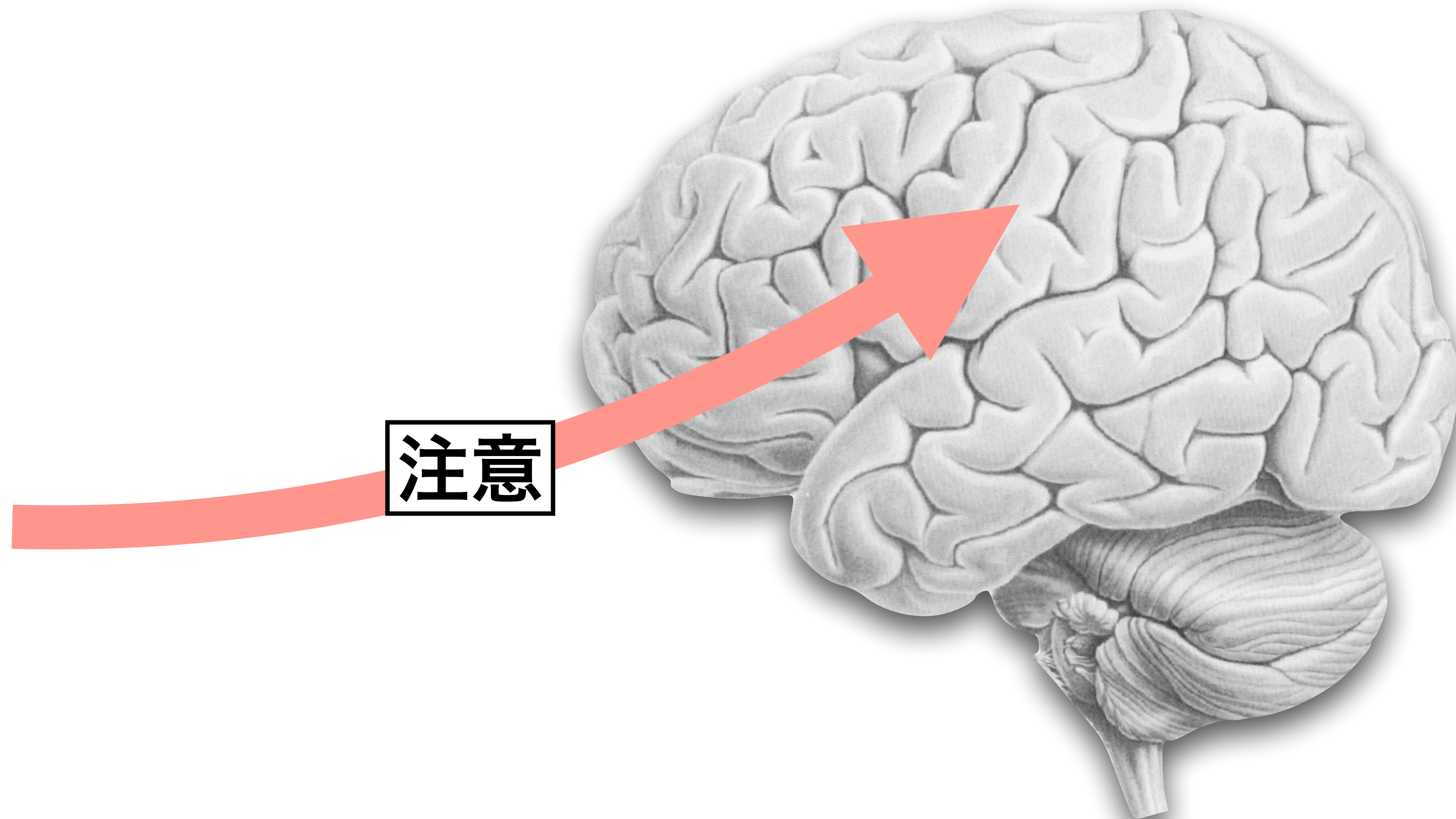
『止めて』

『肘伸ばしてね』

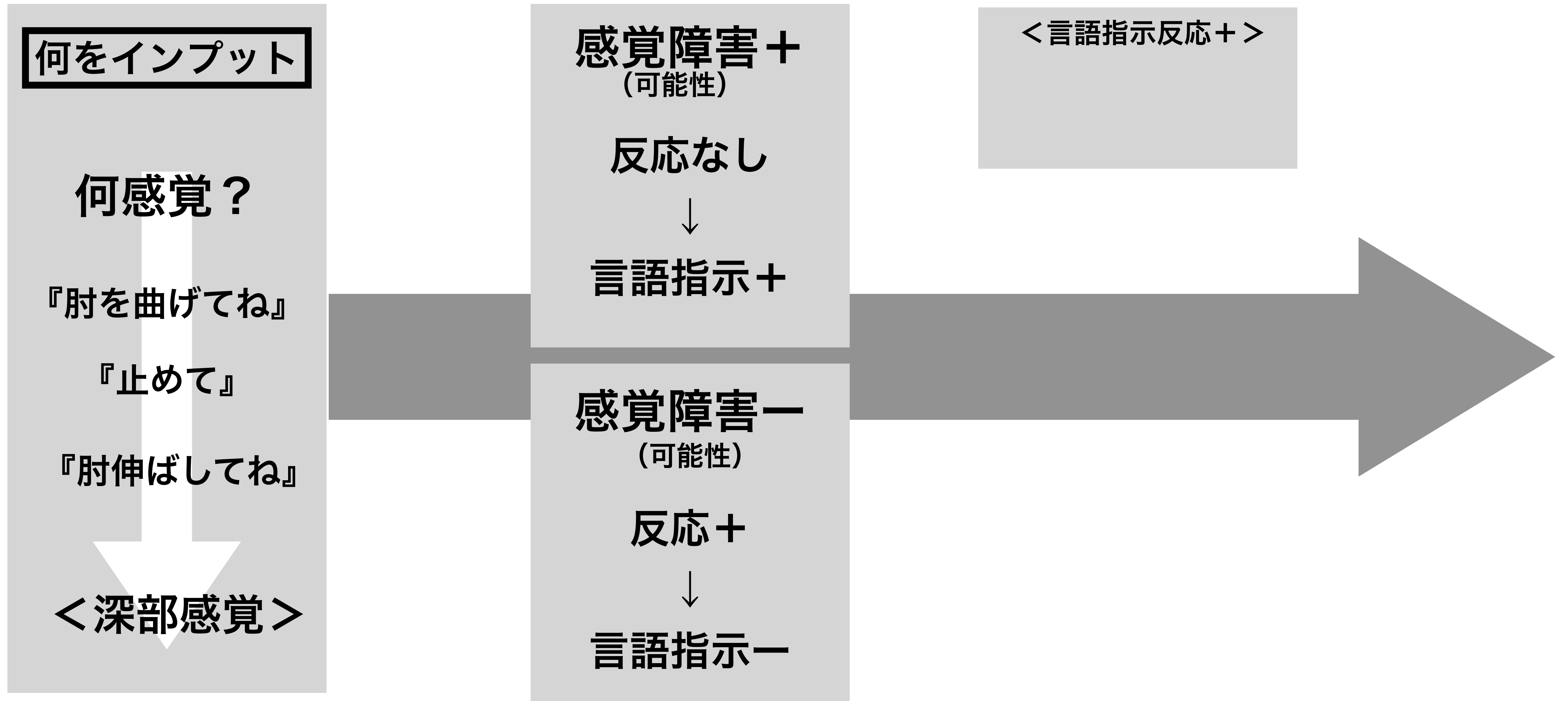
< 深部感覚 >

何を評価するのか？

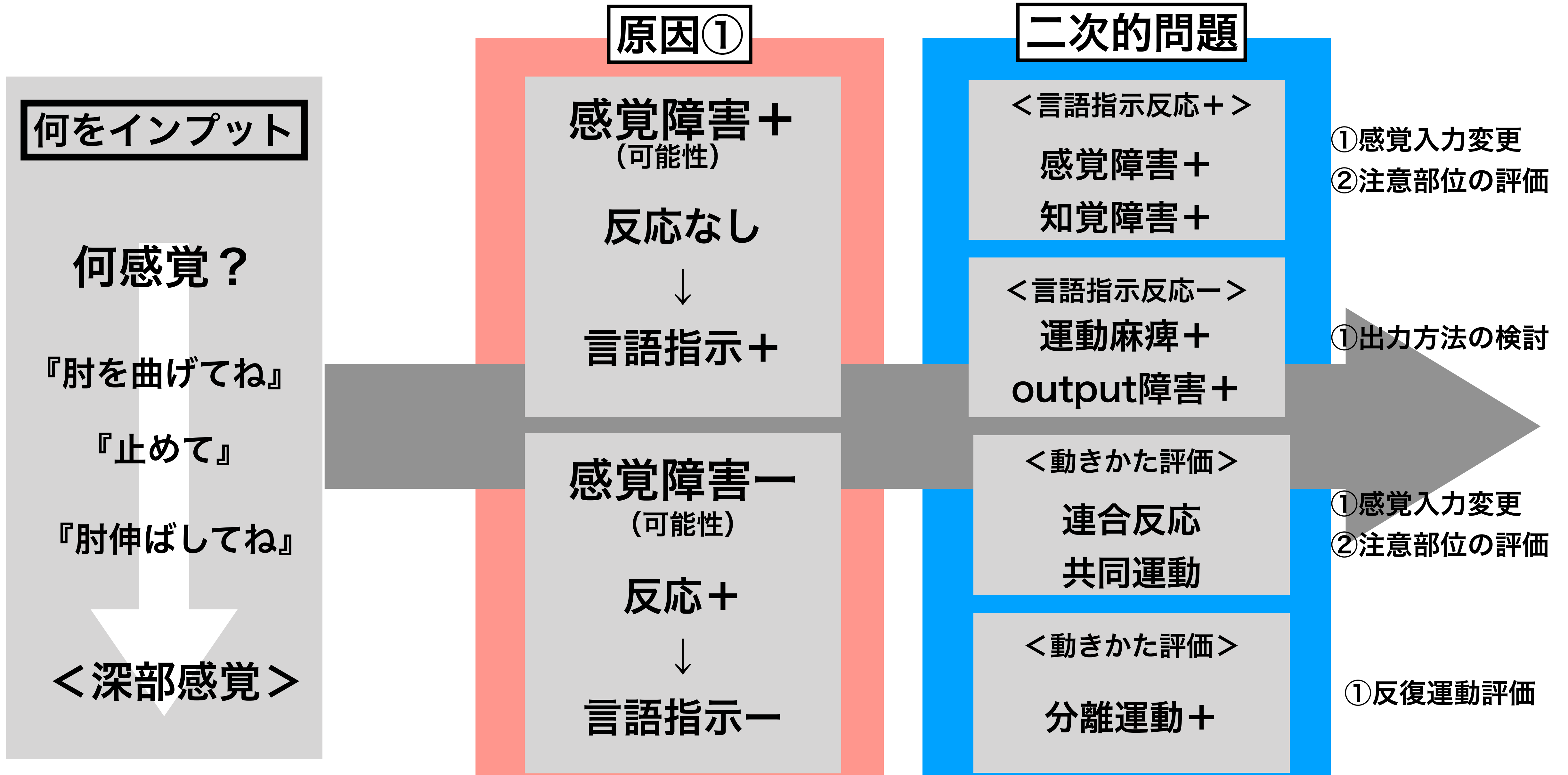
input



山本流アプローチ



山本流アプローチ



これはアプローチ？



＜目的：肘の分離＞

問題点

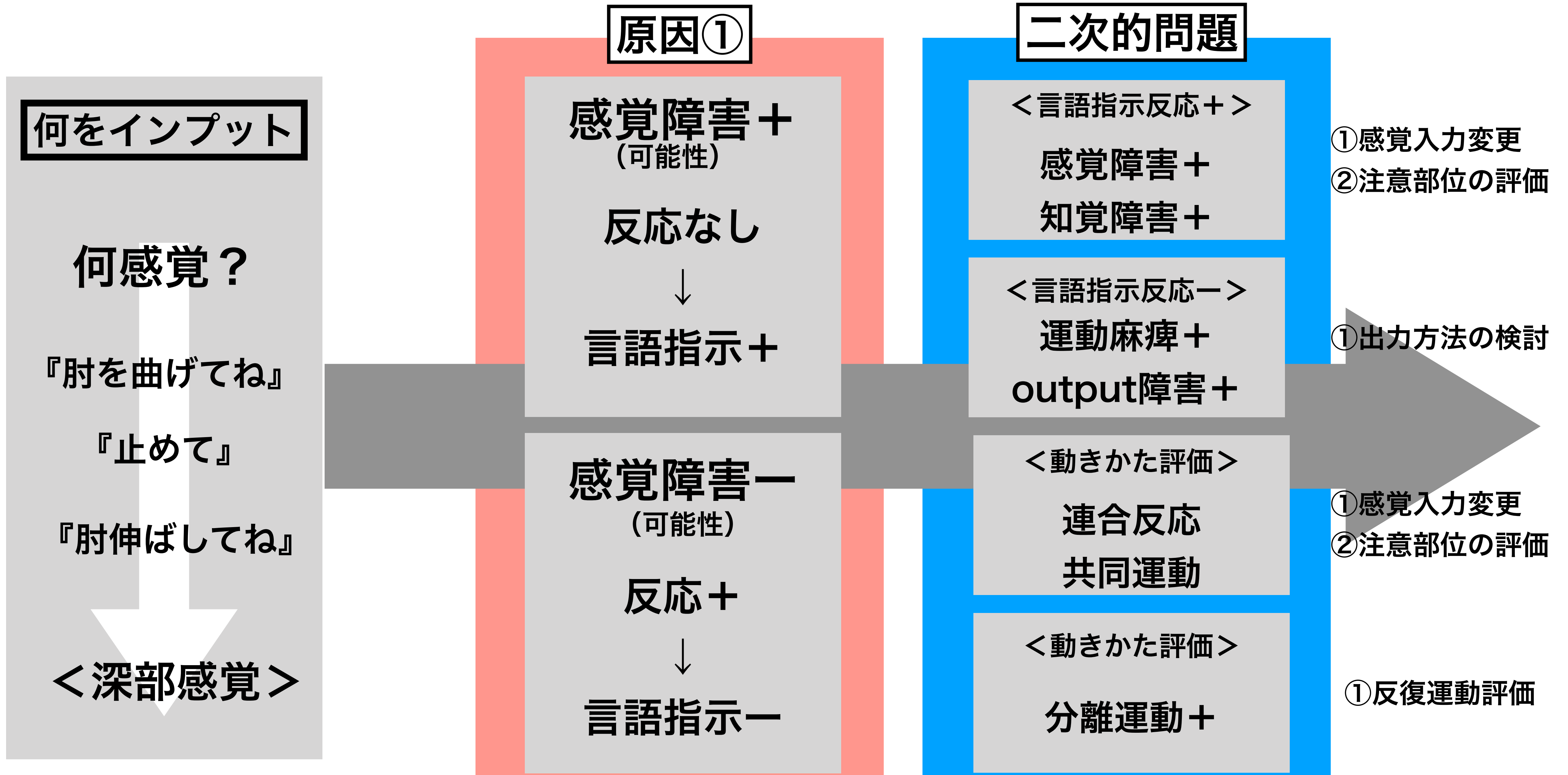
- ・上位運動ニューロン障害
- ・感覚障害

評価

- ・どうすれば分離できるか

- ①無言で動かす
- ②切り返して言語指示
- ③注意部位の変更
- ④説明：認知の変換
- ⑤戦略の表出(挟む感じ)
- ⑥知覚部位の再確認
- ⑦output確認

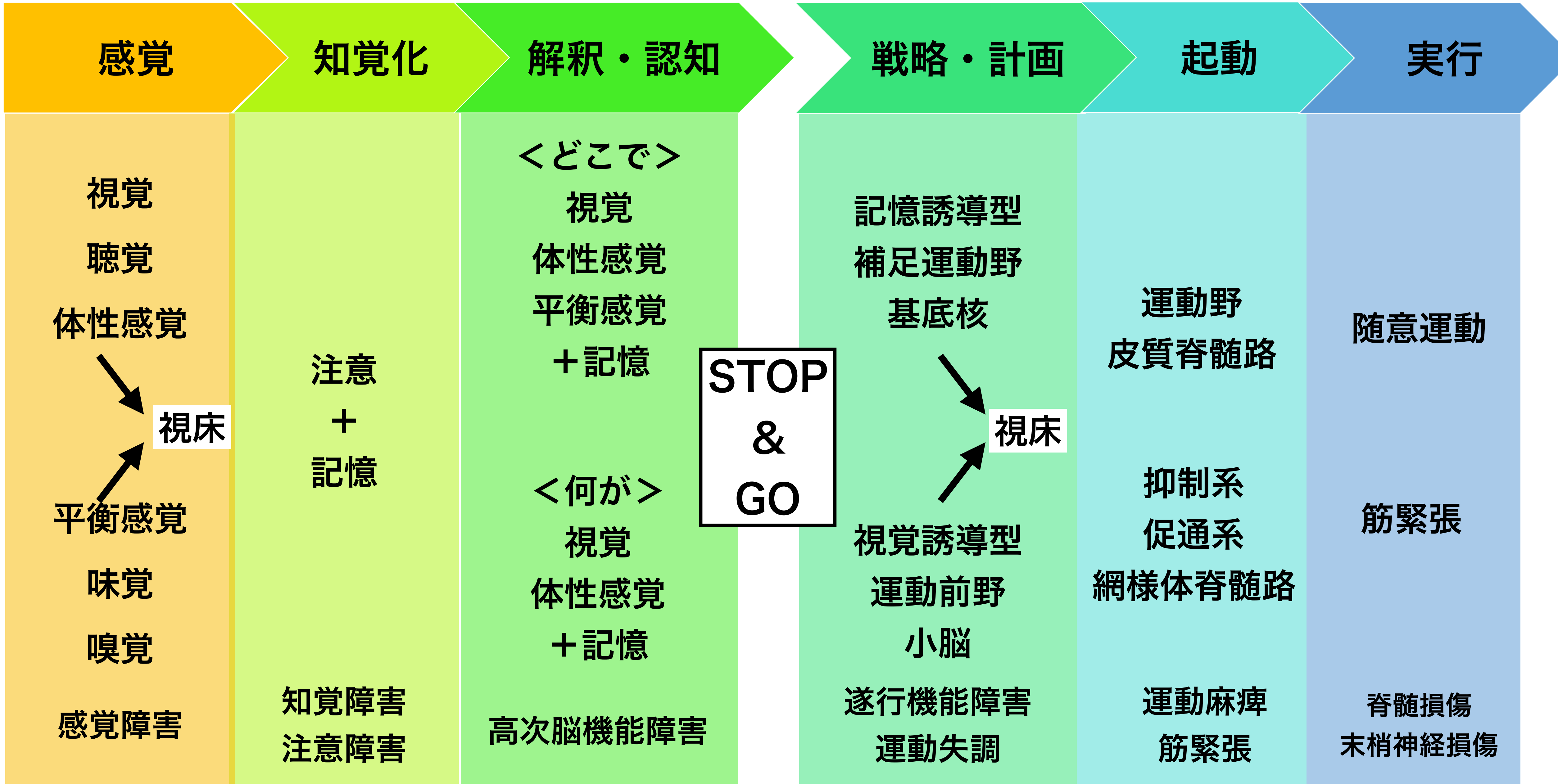
山本流アプローチ



インプット

どう分析するか？

アウトプット



STOP & GO

視床

視床